

科目コード:140010

EBPの探究

担当教員	松本 勝、紺家 千津子、幅 大二郎												
実務経験	病院勤務経験のある教員が担当している。												
開講年次	4年次後期			単位数		1		授業形態			講義		
必修・選択	選択			時間数		15							
該当ディプロマ・ポリシー	(1)		(2)		(3)		(4)	○	(5)		(6)	◎	
Keywords	科学的根拠の検索、看護技術、臨床適応、ICT・IoT、看護理工学												
学習目的・目標	<p>目的：</p> <p>科学的根拠ある最善なケアを実践するための知見の検索や、対象への適応の検討の方法、EBPのケア技術について学習する。さらに、EBP(Evidence-based Practice)を効果的に実践で活用するための方策を考える。</p> <p>目標：</p> <p>1. 科学的根拠あるケアの知見を得るための検索方法を理解する。</p> <p>2. 知見の臨床活用例を理解する。</p> <p>3. 知見の臨床適応について倫理的な視点も含め考える。</p> <p>4. ICT・IoTを活用した最新知見や社会の動向より今後のケアの展望を考える。</p>												
授業計画・内容													
回	内容												
1	EBPの意義と科学的な知見の検索方法 ・臨床疑問(PICO、PECO)の作成 ・EBPに適した検索サイト												
2	倫理的な視点を含めた対象の適応への吟味 ・ガイドライン ・論文の吟味、経済的吟味 ・倫理的な視点を含めた対象の適応の判断												
3-4	EBP実践の理解① ・スキンケア：健常な皮膚の維持、医療用品による皮膚障害の予防												
5-6	EBP実践の理解② ・排泄ケア：排尿の自立、便秘の管理												
7	知見の臨床適応の判断(事例を通して) ・適応の判断と導入時の留意点												
8	今後のケアの展望 ・Society 5.0 ・ICT/IoT活用のケア まとめ												
教科書	授業時に資料を配布する												
参考図書等	医学・看護論文を読み解いて臨床に活かす方法 Evidence-based Medicine/Nursingのすべて 新興医学出版社 EBMの道具箱 中山書店												
評価指標	授業時間の2/3以上の出席をもとに、授業内容を理解した上でのレポート内容の評価80％ 授業中のディスカッションの参画20％												
関連科目	看護の基本・看護援助の方法・看護の実践の全科目、研究方法論など												
教員から学生へのメッセージ	患者様や医療メンバーから信頼される看護職者として活動するためには、最良な実践を提供することは必要条件です。 その基盤となるEBPの活用方法を学びましょう。												